

1. 単元名「やまなし」「イーハトーヴの夢」

2. 指導目標

- ◎ 作品の特徴や作者の思いを捉え、自分の感じたことが伝わるように朗読することができる。
- 場面についての描写を捉え、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。

3. 言語活動「ブックボードをつくり、来年の6年生に紹介しよう」

4. 単元指導計画（全8時間）

5 学習の流れ

時数	児童の活動	教員の活動
	<ul style="list-style-type: none"> ・「やまなし」「イーハトーヴの夢」の指導計画については省略。 ・第1時にリテラチャーサークルやブックボード作成を行うことを児童に知らせる。 ・事前に平行読書をしておくと、さらによい。 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックトークを聞く。 ・今後の見通しを確認する。 ・自分が興味をもった作品を3つ選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉本先生に、宮沢賢治の作品のブックトークして頂く。 ・今後の見通しについて児童に説明する。 ・児童に興味をもった作品を決めてもらう。
2 ～ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを確認する。 ・グループごとに活動する。 ①どこまで、読むかを定める。 ②役割を決める。 (思い出し屋、質問屋、段落屋、言葉屋) ③読む(ワークシートに記入しながらでも可)。 ④ワークシートに記入し、役割について読んだことをグループで話し合う。 ※ ①～④を毎時間繰り返す(毎回、役割は変える)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ作品を選んだ児童で、グループをつくる。 ・リテラチャーサークルの説明(杉本先生)→何分読む時間をとるかを提示
6 ・ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、選んだ作品を紹介するブックボードを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックボードの説明(杉本先生) ・必要な材料を用意する。 →色画用紙、カラーペンなど
8	<ul style="list-style-type: none"> ・作品について班ごとに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書(杉本先生)をお招きする。 ・発表の司会進行をする。 ・発表や作品について評価する。

6 ブックトークして頂く作品（8作品）

- ・ 鹿踊りの始まり
- ・ 度十公園林
- ・ 雪渡り
- ・ どんぐりと山猫
- ・ 猫の事務所
- ・ セロ弾きゴーシュ
- ・ よだかの星
- ・ なめこと山の熊

7 ブックボードの様子